

亜熱帯農林環境科学科

Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences

植物と動物の生産や環境に関する分野で活躍する人材、
琉球弧や地球レベルの生態系保全に貢献できる人材を育成



植物機能学コース

作物の生理・生態的特性を基礎にした効率的なバイオマス生産と利用、バイオ燃料の生産、沖縄型植物工場の開発、植物に発生する各種病害の発生・生態と生物的防除法について。

動物機能学コース

熱帯・亜熱帯で飼われている動物を対象に、環境との相互作用の視点から動物の遺伝育種・繁殖・生理・形態などの特性解明と関連する技術の開発について。

森林環境学コース

森林生態系や都市の緑の保全と森林資源の利用、自然災害の軽減を考慮した森林造成、森林や樹木の保護、流域管理の理論と実践について。

生態環境科学コース

昆虫を主とする野生動物と土壌環境の特性・機能の解明と利用技術について。

Admission Policy - 求める人材像 -

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 生物資源・環境の機能や特性の解明に興味をもつ人
- 生物生産と自然環境との調和を目指す人
- 生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献したい人

【一般入試では特に次の学生を求めます】

- 農学を学ぶ基礎的な知識・技能を習得した人

【推薦入試では特に次の学生を求めます】

- 生物生産・資源や自然環境の分野に関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志を持つ人

4年間の学び

	1年次	2年次	3年次	4年次
主な授業科目	●主に共通教育科目を履修し、英語、第二外国語、一般教養などの幅広い教養と知識を修得する。あわせて農学部必修科目を2科目受講する。 ●科目学修例／「食・農・環境概論」では農学部全学科の教員によるオムニバス形式の講義を通じて、学部が行っている研究を紹介する。「基礎フィールド実習」では農業、林業、畜産業に関する実習を行い、農学の基礎を幅広く体験する。	●農学部必修科目を6科目履修する。あわせて各コースの教員による専門科目の概論(5科目)を受講する。 ●科目学修例／「生物統計学」ではデータ解析に必要な統計的手法を習得する。選択必修科目の「フィールド実習Ⅰ」ではフィールドにおける植物栽培・管理を対象とする基礎的実習を行う。その他、所属コースの必修科目を履修し、専門知識を修得する。	●農学部必修科目4科目を履修する。 ●科目学修例／「保全生物学」では新しい応用生物学の基本概念を解説し、希少生物の保護や外来種など、環境問題の科学的解決の方法論を学修する。「キャリア・ディベロップメント」では就職活動に関する講義・演習を行う。外国文献講読Ⅰ・Ⅱでは研究に必要な外国語文献などの講読を行う。その他、所属コースの必修科目を履修し、専門知識を修得する。	●必修科目「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」では各分野の関連課題について、教員の指導のもとに研究を立案して実験・調査を進め、論文を作成する。卒業論文の研究成果は学会形式で発表し、プレゼンテーションに関連する技術の修得や口頭発表の修練を行う。